

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名: : 保育内容(造形表現)指導法 英語表記: Method of Nursing(Modeling Expression) ナンバリング: 2308		単位数: 1単位 (半期) 演習	担当教員名: 小日向千秋 担当形態: 単独
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 ／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む) ／保育内容演習		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 深い観察力や実素材を扱う技能を身に着け、自由な発想を具体的に表現することができる。 2. 造形に関する技術や知識を深め、指導者としての応用力を持つことができる。 3. 子どもたちの創造力を養い伸ばす為に必要な指導者としての意識と技術を習得し、造形表現を通して子どもの成長を促すことができる。			
【授業の概要】 保育の現場で必要となる造形表現の実践と共に、造形表現の根幹となる実素材による制作、観察などの課題を通して制作力、実行力、指導力を育成する。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】 1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。○ 2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。 3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。○			
【思考・判断・表現】 1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。○ 2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。 3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。○			
【関心・意欲・態度】 1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。 2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。○ 3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。○			
【授業計画】 第1回: ガイダンス、教材の調査とプランニング 第2回: 情報機器を使用しての情報収集・教材研究 第3回: ペーパーサート 研究及び制作 第4回: ペーパーサート発表と講評会 第5回: 陶芸 土鈴 制作 第6回: 陶芸 器と日用品 制作 第7回: 絵画観察と表現 植物を描く 素描 第8回: 絵画観察と表現 植物を描く 彩色 講評会 第9回: 陶芸 施釉、彩色 第10回: 木版画 多色刷りの絵葉書を作る 調査・研究・下絵 第11回: 木版画 制作 (色分割・トレース・彫刻) 第12回: 木版画 制作 (刷り) 第13回: 制作活動に関する指導案を作成する 第14回: 保育における制作活動発表(模擬保育) 第15回: 発表の振り返り・講評会 定期試験: なし		【授業時間外の学習】 ・次課題に関する情報を集め、アイデアを得る ・制作に関する資料を集め、アイデアスケッチ(エスキース)を行う ・制作プランニングに従い、常に、授業外でも完成に向けて、制作、資料収集をする。 ・時間内に完成しなかった制作は次回までに自主的に完成させる (上記を含め、予習・復習に1~2時間程度) 制作活動に関する指導案を作成する	

【授業の方法】 実技、演習、プレゼンテーションとし、フィードバックを行う。全課題の提出を義務付ける。	
【テキスト】 適宜プリントを配布する。	
【参考書・参考資料等】 適宜プリントを配布する。図書館、情報機器等での資料収集を課題ごとに適宜指導する。 幼稚園教育要領(最新版)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版) 保育所保育指針(最新版))	
【学生に対する評価】 提出作品(40%)、授業参画度(20%)、創作への意欲(20%)、レポート(20%)をルーブリック 評価表参照の上で総合的に評価する。	
【履修上の注意】 怪我等の事故が起こらないよう安全に留意すること。汚れても良い服装で授業に臨むこと。 授業終了時に必ずかたづけ、清掃を行うこと。	
実務経験の有無：無	実務経験：
【実務経験を生かした教育内容】	